



# ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2011年10月号 佐藤 純一 書

## 赤い羽根共同募金 募金活動を行います。 ご協力お願いします！

赤い羽根は、募金3兄弟。



### 赤い羽根共同募金

(じぶんの町と良くする会)  
赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、  
地域の福祉活動を支援する基金です。  
災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、  
被災地支援にも役立てています。



### ボート募金

(あることをサポートする基金)  
全国47都道府県、各市町村まで指定して  
ボートで募る基金です。使う目的を選べます。



### 災害ボランティア・NPO活動 サポート募金

(被災地で支える人を支える基金)  
災害時、被災地で被災された方々を支える  
ボランティアやNPO活動をする人々を  
支える基金です。

## 赤い羽根の中央共同募金会

今月の表題を書いてくださったのは、東日本大震災災害ボランティアに参加していただいた、佐藤純一さんです。

「この度の大槌町復興ボランティアに参加させていただきました。きっかけは、社協さんからの募集もありましたが、家内の『行って来い』の一言もあり、ろくでもない亭主の罪滅ぼし程度の軽い気持ちでした。しかし現実の被災地の現場はテレビで見たものとは、遙かに違い圧倒的な迫力で、津波の威力に大変驚きました。

町は土台以外何もないそんな場所で、初日は瓦礫の片づけ、スコップを持っていろいろまぜこぜの土と格闘していると、中から壊れた塩ビ製のゴジラが出てきて、つい胸が熱くなりました。二日目は、避難所として使われた体育館の畳の片づけや、役場からの配り物を仮設住宅へ届ける活動をしました。最後に社協さんにいろいろお世話になりました。手配無くては、行かなかつたかもしれません。」とお話ししてくださいました。

移動日を含め4日間、大変ご苦労様でした。現地に行かないと、わからない事や見えない物はたくさんあると思います。佐藤さんが体験した事を少しでも多くの方に伝えていただくことも、支援の一つではないかと考えています。これからも、いろいろなボランティア活動に参加していただき、少しでも多くの人に広めいただきたいです。

\*福祉通信『ちからこぶ』は、再生紙を使用しています。

**運動期間：10月1日から12月31日**

↓ 共同募金の使いみち情報 ↓  
[www.akaihane.or.jp](http://www.akaihane.or.jp)

### ○安心・安全なまちづくり活動支援配分の公募○

地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動を支援するため、共同募金配分事業を公募いたします。

»申請受付期限« 平成23年11月21日(月)

お問い合わせは、共同募金会山ノ内町支会（山ノ内町社会福祉協議会）まで。電話 33-1105 有線 2038

### ○福祉・ボランティア活動配分の公募○

福祉事業・ボランティア活動を支援するため、共同募金配分事業を公募いたします。

»申請受付期限« 平成23年11月30日(水)

お問い合わせは、長野県共同募金会へ  
電話 026-234-6813 FAX 026-234-3024

[www3.ocn.ne.jp/~nakyobo/](http://www3.ocn.ne.jp/~nakyobo/) (長野県共同募金会ホームページ) でも情報掲載しています！

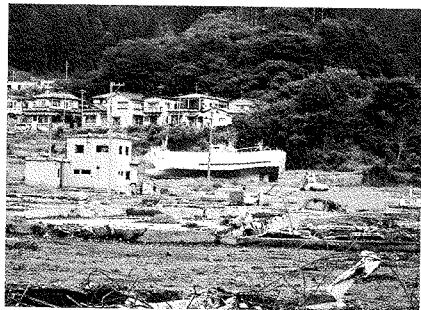
中央募金会では、災害義援金の受付期間を平成24年3月31日(土)で延期となりました。

詳しくは、共同募金会山ノ内町支会(町社協)までお問い合わせください。

このひとに注目  
佐藤 純一さん



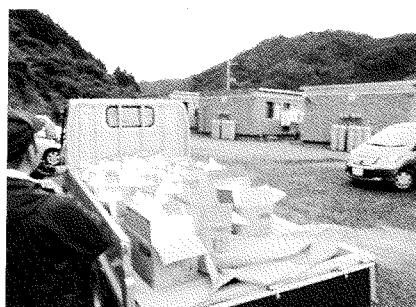
# 岩手災害ボランティア報告



平成23年9月3日(土)から6日(火)まで、災害ボランティア支援として岩手県大槌町で活動を行いました。山ノ内町・木島平村・野沢温泉村の3町村共催で参加者を募ったところ17名程度の方が参加してくださいました。

大槌町災害ボランティアセンターのサテライト(出張所)で受付を行いました。海岸から近い地域だった為、陸上には舟が押し流されたままになっていたり、解体されていない建物が残っており、津波の恐ろしさを物語っていました。私たちは、重機で片付けきれない物を撤去する作業をしました。地震・津波が無ければ、変わらない日常で笑顔の絶えない時間を過ごしていたのだと考えると、住宅の基礎部分だけが残った敷地へ足を踏み入れる事に抵抗を感じました。撤去作業をしていると、台所であつただろう場所からは、食器や飲んでいないお酒等が出てきました。2日目は、避難所として使われた中学校で畳の搬出する作業班と、仮設住宅の個々宅へ物資(梅干し・消臭スプレー・うがい薬等)を配達する班に分かれ活動をしました。仮設住宅は市街地より少し離れた所で、田だった土地を使用しており、敷地に入る為には田の畦道を通っていかなくてはならない状況でした。仮設住宅に入居される方のなかには、「子どもから、熊が出るから外へ出るなどと言われている。」と言われる高齢の方や、家の中にいる時間が長い方、会話をしたい方が多かったです。訪問時には、作業に追われて話を十分に出来なく残念でした。「お金さえあれば、こんな所にいないのに…。」と一人の女性が声を落として話していた事が印象的でした。

被災地では少しずつ復興が進んでいます。現地での支援の他にも私たちにはできる事があります。今回の出来事を忘れずにいる事、そして実際に各地で支援をした方は一人でも多くの方に伝えていく事が役目であると感じました。



## 「角間お茶のみ会」(9/24)

みんな元気!! いきいきサロン!!

角間公会堂でお茶のみ会が行われました。稲刈りの時期という事もあり、参加者がいつもより若干少なかったですが、初めて参加された方もいて楽しく過ごしました。

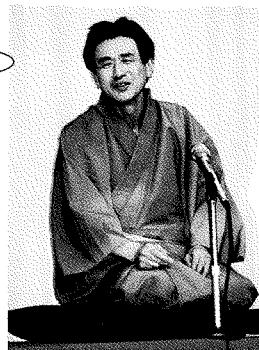
レクリエーションの一つで、「新聞紙を片手で丸める」事をしたのですが、簡単なようで意外と指の力が必要になってきます。小さく丸めたつもりでも参加者の中には小さくなりきれていない方もいて、良い手の運動になりました。その他にも『もの当てクイズ』をやりました。

短い時間ではありますが、農作業や家事の他に、皆で楽しむ時間として今後の活動も期待しています。



## 落語はいかがでしょか…

私は、理髪家文正《りはつやぶんしょう》こと知久正文と申します。星川在住の素人落語家です。



町内各地域では、お年寄りの皆さんのが公会堂などでお茶のみ会や親睦会が行われています。その時の余興の賑やかさに、ぜひ私たちを呼んでください。落語を皆様に見て聴いていただけますよう、お声をかけていただければ参上いたします。会場には何も用意していただくものはありません。用具は全部こちらで持参いたします。演じる時間は30分程度ください。1時間以上の場合は演者が2人で行きます。落語以外にもマジック・歌・南京玉すだれなど、いろいろございます。

出演のお礼は基本的には、ボランティアですのでいただきませんが、ガソリン代程度はお願いする場合がございます。

申し込みはお気軽に知久までお願いします。 電話：33-3763 携帯 090-7729-2211

## >> 平成23年度 ボランティア交流会 開催のお知らせ <<

つつみ住民活動センターのオープンに伴い、住民の誰もが利用しやすい交流の場づくりとともに、住民活動センターを知ってもらうきっかけづくりや、ボランティア・地域活動実践者を応援するため、日頃ボランティア活動をしている方、またこれから取り組もうとする方が一堂に会し交流することを目的としています。

日 時：平成23年10月29日（土）13時00分～18時00分

場 所：つつみ住民活動センター

参加対象：ボランティア・地域活動実践者、その他ボランティア・地域活動に関心のある方

参 加 費：500円（材料費として）

持 ち 物：交流会時の飲み物（ご自分がたしなむ飲み物、冷たい物はご自分で管理をお願いします。）箸、皿、カップ、おわん

内 容：一部「燻製づくり体験」講師 畔上 正雄さん（NPO法人よませ自然学校）  
二部「交流会」

申込方法：参加希望の方は電話、有線、FAXまたはメールにて、平成23年10月21日（金）までに  
社協またはつつみ住民活動センターまで申し込みください。

《社協》電話 33-1105 有線 2038 FAX33-8413 E-mail info@honobono-shakyo.or.jp

《つつみ住民活動センター》電話 33-2810 有線 4280 FAX33-2830 E-mail:huseya@honobono-shakyo.or.jp



## 町内介護保険事業所の紹介 その20

### 指定通所介護施設 ティイサービスちとせ

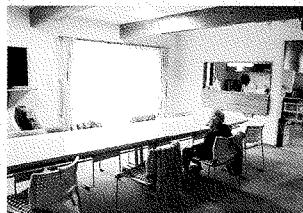
山ノ内町大字夜間瀬2481-2

電話：33-5818

経営主体：NPO法人さわやか千歳

管理者：武井 信一

『NPO法人さわやか千歳』では、グループホームのとなりに平成23年6月16日にオープンしました。利用定員は15名までで、曜日によって6～10名の方が利用されています。



開放感のある施設内は、木目調の家具や梁があたたかい気持ちにさせてくれます。日中の活動場所となるフロアーからは、どこの部屋も見渡せますがプライバシーも考慮されています。お昼は、職員が立てた献立を、お家の食事に近いような味つけと見た目を大切にしています。

認知症は治る事は少ないが、症状の進行を遅くする事はできます。「自宅の他に、ちとせを利用してもらう事で、やりがいを見つけたり楽しい時間を過ごしてもらい症状の進行をゆっくりとしたい。」との願いで職員一同支援をしていきます。さわやか千歳では、職員に対して認知症の教育を徹底して行っておりますので、安心してご利用いただきます。

# ~社協の予定~

10月

12	水	北信地区身障自然探勝会 (志賀高原)
13	木	・ほのぼのランチ ・町戦没者慰靈法要・追悼式
14	金	・脳元気教室
15	土	
16	日	北信ブロックボランティア 地域活動交流研究集会 (飯山市)
17	月	
18	火	・結婚相談所 ・手芸教室 ・わくわく商店街
19	水	一人暮らし おだつしや会 (湯田中・星川・ 上条・西部・北部)
20	木	・ほのぼのランチ ・星川お元気会
21	金	・脳元気教室
22	土	・ぬくもりの会(湯河原二組)
23	日	介護者リフレッシュ教室 (施設見学)
24	月	
25	火	・結婚相談所
26	水	
27	木	・ほのぼのランチ
28	金	・脳元気教室
29	土	ボランティア交流会 (燻製作り)
30	日	
31	月	・理事会
11月	火	・結婚相談所 ・わくわく商店街
2	水	
3	木	文化の日 デイサービス等営業
4	金	・脳元気教室
5	土	
6	日	
7	月	・デイバイキング昼食
8	火	
9	水	・結婚相談所
10	木	

社は 安全・尊厳・満足=地域住民のみなさまと共に歩む社協=

●福祉通信からこぶ 平成23年10月12日発行 ●発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会

●〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3371-2(山ノ内町地域福祉センター内) TEL.0269-33-1105 FAX.0269-33-8413

●URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp> ●E-mail [info@honobono-shakyo.or.jp](mailto:info@honobono-shakyo.or.jp) ●印刷 うさぎや印刷

## 山ノ内町社会福祉大会

福祉活動功労者の推薦  
福祉作品募集

12月に開催予定の山ノ内町社会福祉大会において、福祉活動功労者表彰として、地域で活動されている団体・個人の方を募集します。いきいきサロン(お茶のみ会)やボランティア、その他、地域で福祉に関わる活動をされている方の推薦をお願いします。あなたの周りに「この人!!」と思いつく方がいらっしゃいましたら、是非、社協までご連絡ください!また、福祉に関するポスター・標語・作文等の福祉作品をお寄せください。

締切は、平成23年10月20日(木)までに、町社協までご一報ください!

## 春まで楽しめる寄せ植え講習会

ボランティア交流会第2弾として、秋から冬にかけての寄せ植え講習会を行います。

日 時：平成23年11月9日(水)14時から16時

場 所：つつみ住民活動センター

講 師：山本 裕美さん(樹木医)

参 加 費：2,000円 募集人員：20名程度

申込先・お問い合わせ先

つつみ住民活動センターへ参加費を添えて平成23年10月31日(月)までに、お申込みください。

## TAKEZOU の4コマ漫画

～生活に笑いをお届けします～



## 編集後記

最近、私の周りでは出産ピーク。名前は、親のいろいろな願いが込められ、珍しい漢字ばかり。

最近の赤ちゃんには「翔」や「颶」、「凜」や「璃」と画数が多いのが目立ちます。学校の習字の時間に、自分の名前を書くにも字画が多くて、真っ黒にならないか要らない心配をしています。皆さんは読めますか?

① 凜夏 ② 心晴 ③ 颶 ④ 煙斗

① りんか ② こはる ③ そう ④ あきと

(M)